

Takara standard

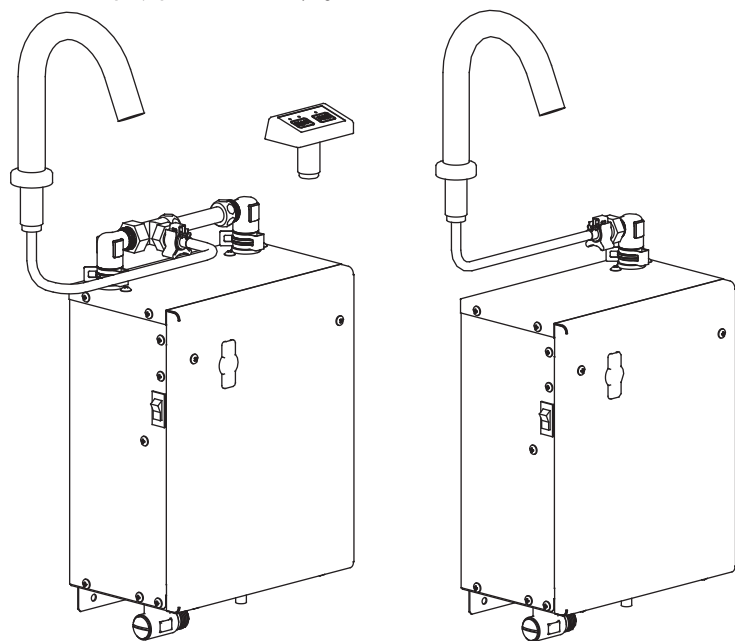
小型電気温水器 工事説明書

保証書別添

元止め式、自動水せん一体型、壁掛け型
適温出湯タイプ（屋内設置専用）

品番	
EH-03JY	EH-03JT

※図は純正別売部品のEH03J吐水パイプユニットを取り付けています。



もくじ

工事の前に

安全上のご注意	2
施工上のご注意	3
純正別売部品	3
仕様表	4
外形寸法	4

設置工事

据付工事	5
配管工事	8
電気工事	9

工事完了後の確認

試運転	10
試運転完了後のお願い	11
故障かなと思ったら	裏表紙
工事完了チェックシート	裏表紙

据付、付帯工事される方へ

- ◆この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい設置工事が必要です。設置工事の前に、必ずこの工事説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、事故や故障が生じたときは責任を負いかねます。
- ◆次の法律、基準、条例などに従って、必ず資格のある人が設置、施工してください。
 - ・建築基準法
 - ・電気設備技術基準、および内線規程
 - ・消防法に基づく火災予防条例、および当該地区の火災予防条例
 - ・水道法、および当該地区の水道事業の条例、規定
- ◆工事説明書に記載の試運転に従って、各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電、水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。
- ◆試運転完了後、必ず「工事完了チェックシート」項目内のチェック欄、販売店様、工事店様記入欄を記入してください。
- ◆この工事説明書は、試運転完了後に取扱説明書と共にお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- 据え付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 図記号とその意味は、次のようになっています。

 禁止行為 (絶対に行わない)	 行為の指示 (必ず指示に従い行う)	 アース線接続
--	---	---



警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容

	必ず温水器のアース工事は、D種接地工事を行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話などへの接続や共用アースを行わない。工事は「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従って、電気工事士が行う。故障や漏電のときに感電の原因になります。	
	水、油、洗剤などがかかる位置に温水器用のコンセントを設けない。火災、感電の原因になります。	交流100V以外の電源と接続しない。火災、感電の原因になります。
	ガス類や引火物の近くに据え付けない。発火の原因になります。	湿気の多い場所には据え付けない。感電、火災、故障の原因になります。
	屋外や水がかかる場所には据え付けない。感電、故障の原因になります。	電源コードの加工（切断、継ぎ足し）を行わない。感電、火災の原因になります。
	電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。感電、火災の原因になります。	吐水口（スパウト）の先端をふさがない。水漏れ、故障の原因になります。
	上水道直結の配管工事は、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道事業者が指定した配管材料を使用して施工する。事故、故障の原因になります。	温水器満水時質量に十分耐えられる場所に据え付ける。温水器が脱落し、けがの原因になります。
	分電盤等に漏電しゃ断器を設ける。漏電したときに、火災、感電の原因になります。	定格15A以上のコンセントを単独で使う。発熱して、火災の原因になります。
	専用の電源ブレーカーを設ける。他機器と併用し、ブレーカー容量を超えたときに、発熱して火災の原因になります。	工事は必ず当社指定部品を使用し、この工事説明書に従って確実にを行う。火災、感電、水漏れの原因になります。



注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容

	温水器に強い力や衝撃を与えない。故障、水漏れの原因になります。	センサー面を傷付けない。故障、けがの原因になります。
	めっき部品は、ぶつけたり落としたりしない。鋭利なものや硬いものを当てない。めっきの表面がはがれ、けがの原因になります。	
	タンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にする。過熱し、故障の原因になります。	機器の周囲温度が氷点下にならないところへ設置する。配管や機器の破損、やけど、水漏れの原因になります。
	温水器を必ず付属の固定金具及び、ビスを使用して固定する。温水器が脱落し、けがの原因になります。	必ず専用水栓を使用する。故障、水漏れの原因になります。
	必ず水道法の飲料水水質基準に適合した水道水を使用する。故障、水漏れの原因になります。	給水配管を接続する前に、配管内のゴミが排出されなくなるまで止水せんを開けて、水を捨てる。故障、水漏れの原因になります。
	壁面へのネジ固定は、ネジが壁中のラス網と電氣的に絶縁した状態で行う。ネジとラス網との接触部が発熱して、火災の原因になります。	工事完了後、必ず通水し、温水器本体や各配管より水漏れがないことを確認する。水漏れが起きた場合、機器の故障や大きな被害につながります。

施工上のご注意

工
事
の
前
に

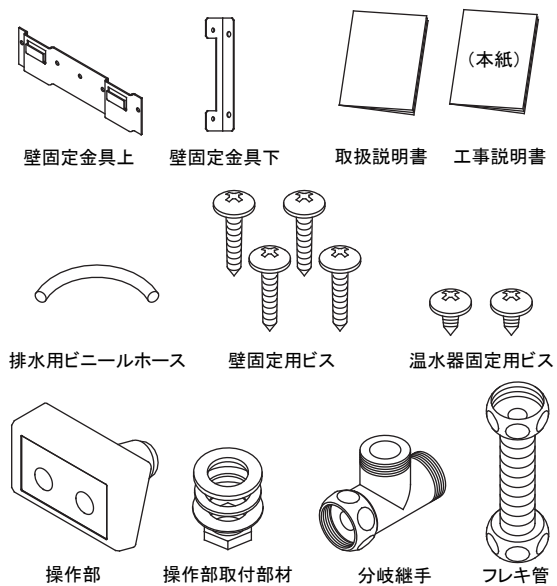
工事について

- 工事中は手袋を着用してください。金属端面によるけがを防ぎます。
- この製品は交流100Vで動作する機器です。
- 太陽熱温水器(ソーラー温水器)や他温水器との接続はできません。
- 水は水道法の飲料水水質基準に適合した水道水を使用してください。水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている水質や酸性水質での使用は避けてください。井戸水、地下水、温泉水はスケールが付着しやすくなり、また温水器をご使用いただく期間の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。
- 給水圧力を確認し、最低必要水圧50kPa(流動時)、最高水圧750kPa(静止時)でご使用してください。750kPa(静止時)以上の場合、給水1次側に減圧弁を設けてください。
- 必ずストレーナ付きの給水配管止水せんを使用してください。
- 製品の上に乗らないでください。製品が変形します。
- 必ずEH03J吐水パイプユニット(純正別売部品)とのセットで、ご使用ください。

同梱付属品の確認

以下のものが付属されています。開梱時に確認してください。

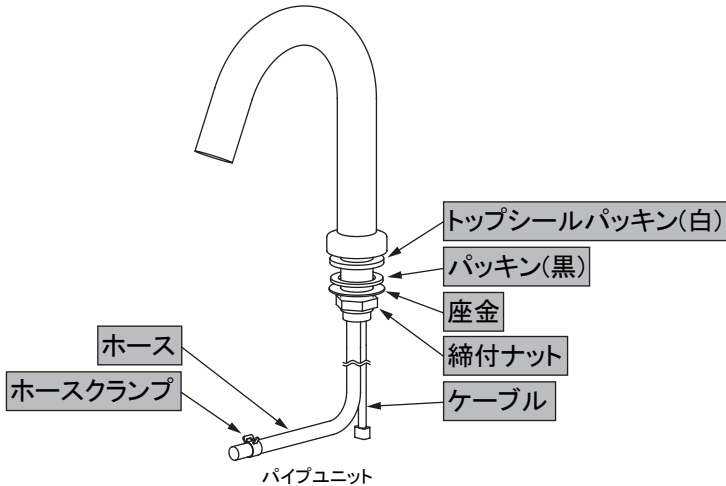
部品名	個数	備考
壁固定金具上	1	
壁固定金具下	1	
排水ビニールホース	1	φ9×250mm
取扱説明書	1	保証書付
工事説明書	1	本紙
壁固定用ビス	4	壁固定金具上下一壁固定用 φ5×30mm
温水器固定用ビス	2	温水器一壁固定金具下取付用、 φ4×8mm
操作部	1	EH-03JYのみ
操作部取付部材	1	EH-03JYのみ (内訳:トップシールパッキン(白)、 パッキン(黒)、座金、締付ナット)
分岐継手	1	EH-03JYのみ、パッキン1ヶ付
フレキ管	1	EH-03JYのみ、パッキン2ヶ付



純正別売部品

- 設置工事に必要なEH03J吐水パイプユニットは別売部品となっています。
- 純正別売部品につきましては、改良のためにお断りなしに変更、追加する場合があります。

部品名	構成部品名	個数	備考
EH03J 吐水パイプユニット	パイプユニット	1	トップシールパッキン(白)付、パッキン(黒)付、座金付、締付ナット付 ホース(約530mm)付、ホースクランプ付、ケーブル(約430mm)付
	プラグユニット	1	パッキン1ヶ付



仕様表

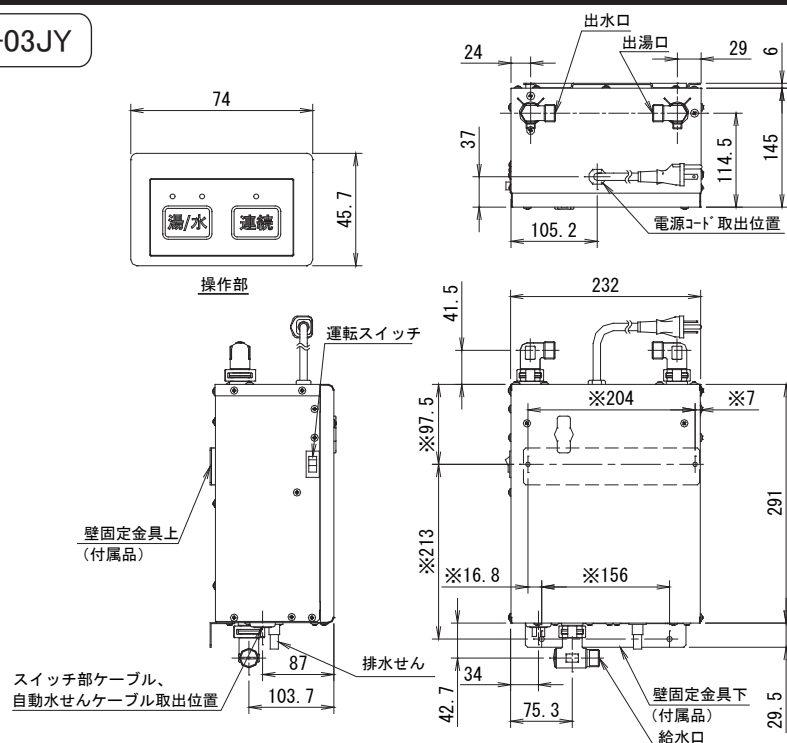
型式	EH-03JY	EH-03JT
設置区分	屋内設置用	
タンク容量	約3L	
電源	AC100V 50/60Hz	
ヒーター容量	600W	
質量(満水時)	5.9kg(8.6kg)	5.2kg(7.9kg)
給水方式	元止め式	
最高使用圧力(静止圧)	750kPa	
最低必要圧力(流動圧)	50kPa	
自動温度調節器	バイメタル式	

型式	EH-03JY	EH-03JT
沸き上げ温度	約75℃	
給湯温度	約36℃	
接続口径	給水	G1/2ネジ(15A)
	出水	G1/2ネジ(15A)
	出湯	G1/2ネジ(15A)
電源コード	約0.9m	
使用可能雰囲気温度	1℃～40℃	
安全装置	温度過昇防止器 接地極付電源プラグ	

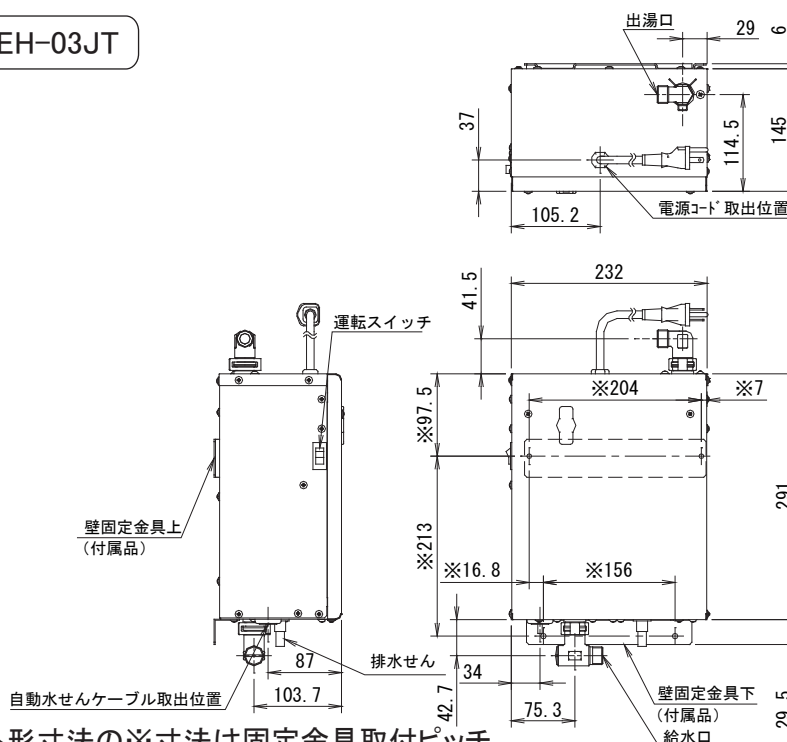
※出湯初期に瞬間的に温度が変化することがあります。

外形寸法

EH-03JY



EH-03JT



外形寸法の※寸法は固定金具取付ヒッチ

据付工事

据付場所の選定

- 据付場所はお客様と相談し、各都市の火災予防条例に従って、決めてください。
- 本体が故障したときの修理や交換ができるように考慮してください。
- 建築物の可燃物からの離隔距離は0cm以上です。
ただし、保守点検できるスペースを確保してください。
- 温水器満水時質量(約8.6kg)に耐えられる十分な強度を持った厚み12mm以上の木質の下地に設置してください。
- 垂直な壁に設置してください。
- 火気、引火物の近くに設置しないでください。
- 屋外や表面に結露が生じるような湿気の多い場所、水がかかる場所、特に浴室やシャワールームには取り付けないでください。
- 気温が氷点下になる場所には設置しないでください。
- 電源コードの長さや曲げ半径には限りがありますので、電源コード(約0.9m)が曲げ半径32mm以上でコンセントに届く場所をお選びください。
- パイプユニットのホース及びケーブルが届く場所をお選びください。

消防法 基準適合 組込形

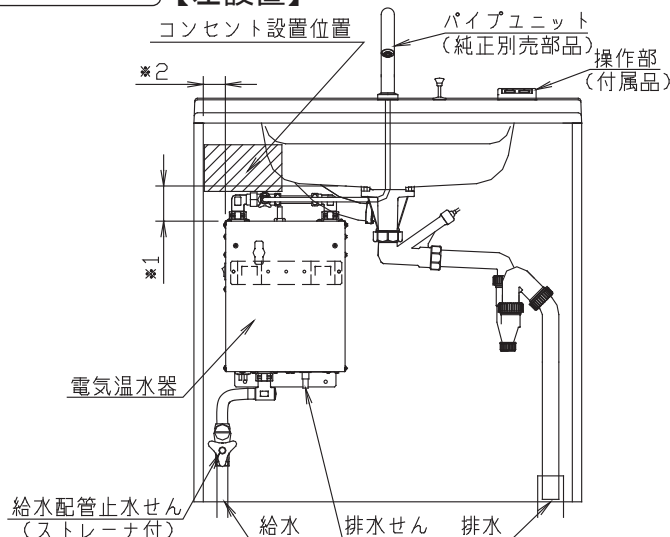
この温水器は消防庁告示第一号(対象火気設備等及び火気器具等の離隔距離に関する基準)に適合しています。

可燃物からの離隔距離(cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	0	0

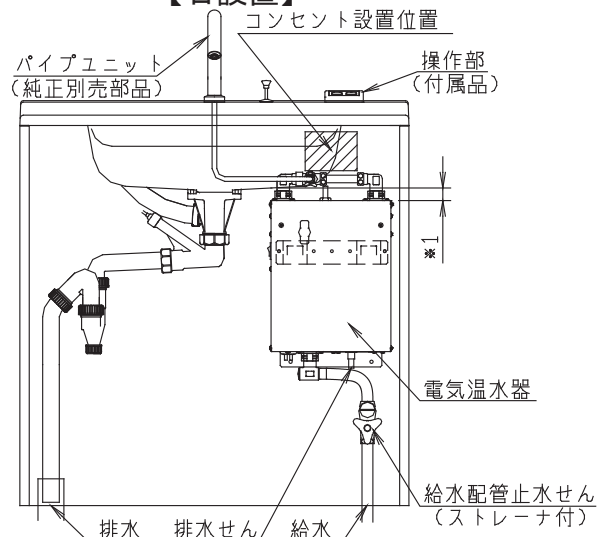
標準施工例

EH-03JY

【左設置】

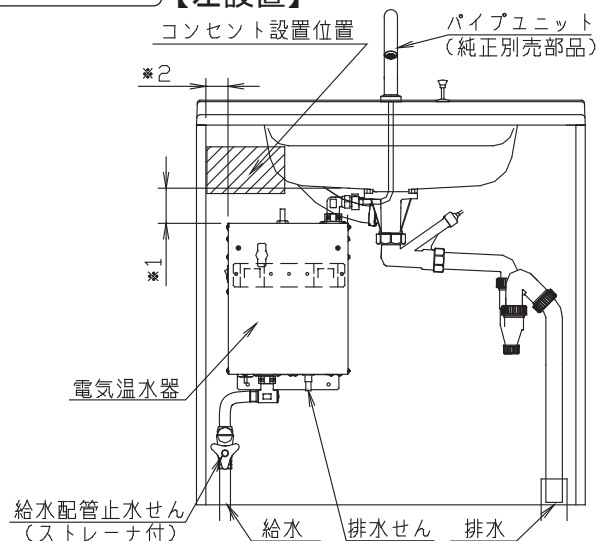


【右設置】

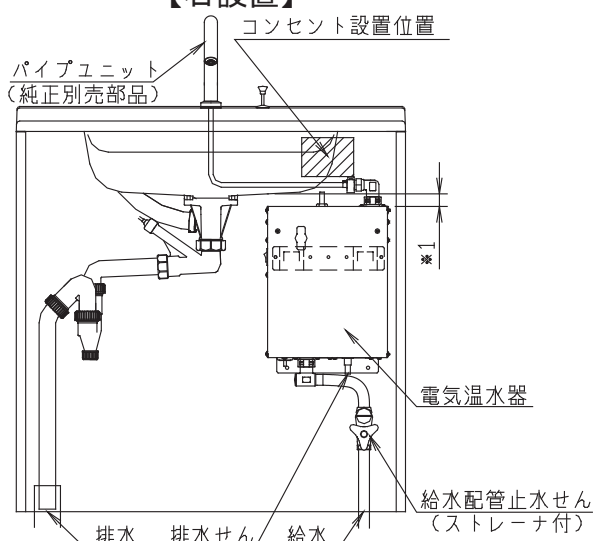


EH-03JT

【左設置】



【右設置】



※1 : 24mm以上確保してください(温水器取り付けや、電源コードの引き回し等に必要な寸法です。)

※2 : 30mm以上確保してください(運転スイッチの操作に必要な寸法です。)

据付工事

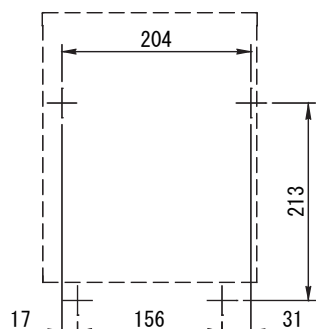
据付

⚠ 注意

- ・ 温水器を上下逆さまや横向きに取り付けないでください。

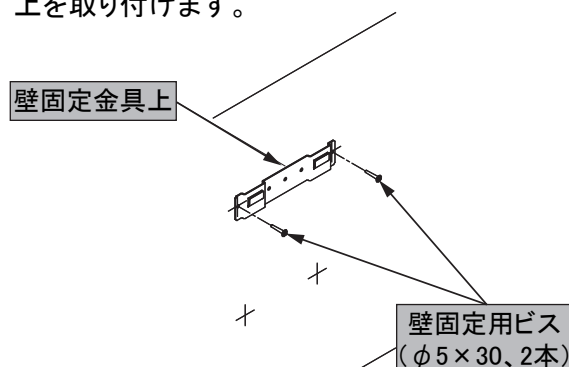
① 固定金具ねじ穴位置のけがき

- ・ 温水器を取り付ける位置を決め、壁に壁固定金具上と壁固定金具下を取り付けるためのねじ穴位置を4か所けがきます。



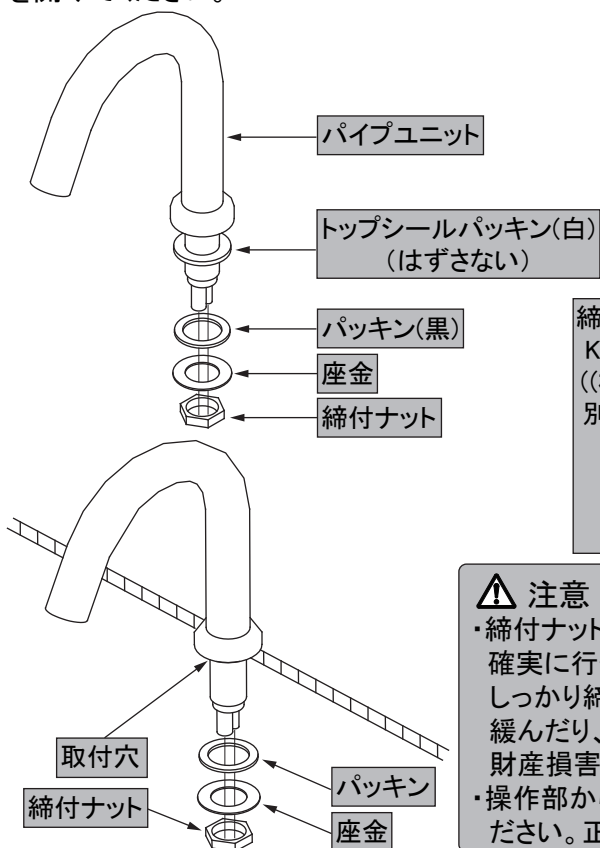
② 壁固定金具上の取り付け

- ・ 壁に壁固定用ビス(付属品)を使用し、壁固定金具上を取り付けます。



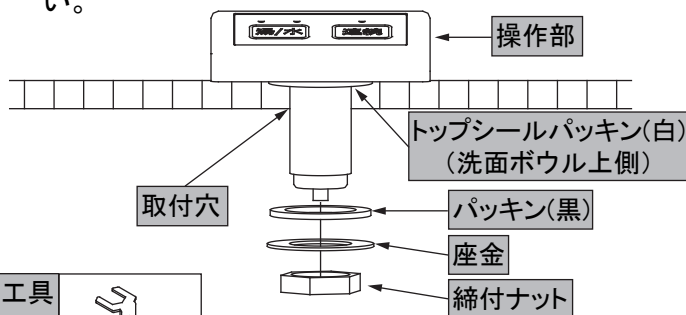
③ パイプユニットの取り付け

- ・ パイプユニットより、締付ナット、座金、パッキン(黒)をはずします。このとき、トップシールパッキン(白)ははずしません。
- ・ 洗面ボウルのパイプユニット取付穴周囲の汚れを取り除いた後、パイプユニットを取付穴に差し込み、パッキン(黒)、座金、締付ナットの順に取り付け、完全に固定します。締付トルクの目安は10N・mです。
- ・ 洗面ボウルにパイプユニット取付穴が開いていない場合は、取り付け可能な位置にφ22～25の穴を開けてください。

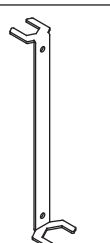


④ 操作部の取り付け(EH-03JYのみ)

- ・ 操作部(付属品)ネジ部根元へ操作部取付部材(付属品)のトップシールパッキン(白)を挿入します。
- ・ 洗面ボウルの操作部取付穴周囲の汚れを取り除いた後、操作部を取付穴に差し込み、「湯/水」、「連続」の文字が正面になるようにし、パッキン(黒)、座金、締付ナットの順に取り付け、完全に固定します。
- ・ 操作部はネジ部を含め樹脂製です。過大なトルクで締め付けると破損するおそれがあります。締付トルクの目安は10・Nmです。
- ・ 洗面ボウルに操作部取付穴が開いていない場合は、取り付け可能な位置にφ22～25の穴を開けてください。



締付工具
KPS955
((株)KVK
別売品)



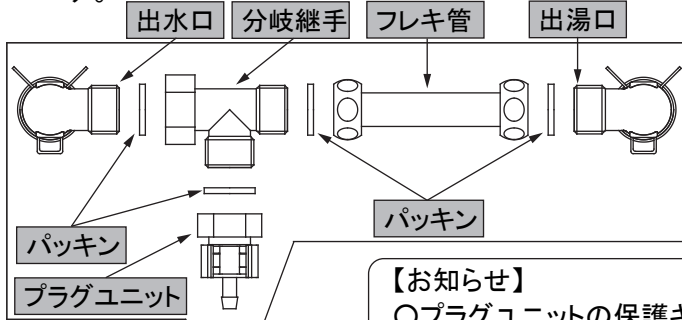
⚠ 注意

- ・ 締付ナットの締付は、締付工具KPS955((株)KVK別売品)で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、パイプユニット、操作部が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・ 操作部から出ているケーブルは引っ張らないよう注意してください。正常に動作しないおそれがあります。

⑤ 分岐継手(EH-03JYのみ)、フレキ管(EH-03JYのみ)、プラグユニットの接続

(EH-03JYの場合)

- ・ 出水口に分岐継手(付属品、パッキン1ヶ付)の袋ナット部を接続し、出湯口にフレキ管(付属品、パッキン2ヶ付)の一方を接続します。
- ・ 上記フレキ管と分岐継手を接続し、残りの分岐継手接続部に(純正別売部品)EH03J吐水パイプユニットに付属のプラグユニット(パッキン1ヶ付)を接続します。

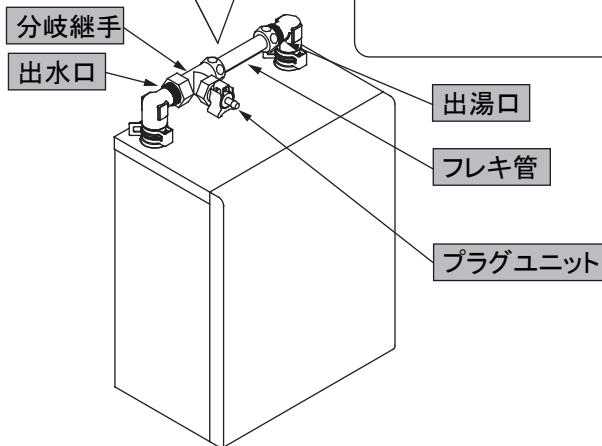
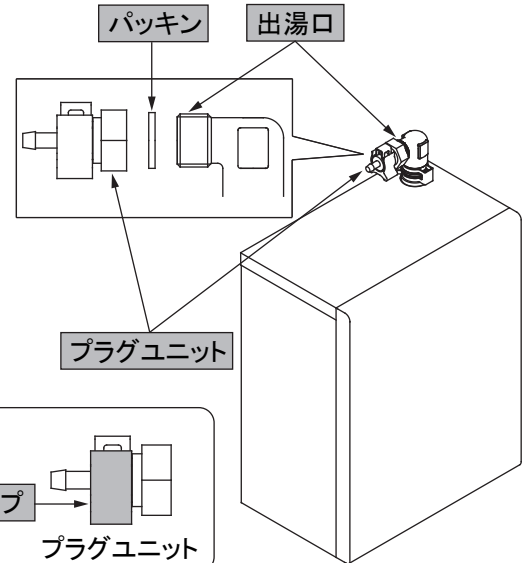


【お知らせ】

○プラグユニットの保護キャップは外す必要がありません。

(EH-03JTの場合)

- ・ 出湯口に(純正別売部品)EH03J吐水パイプユニットに付属のプラグユニット(パッキン1ヶ個付)を接続します。

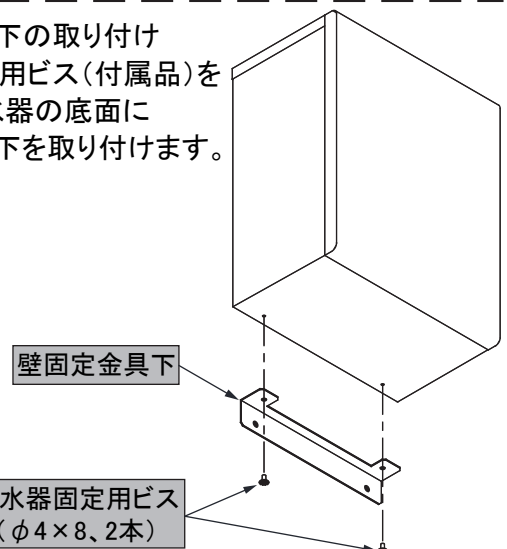


⚠ 注意

- ・ 分岐継手はプラグユニット接続部が前面に向くよう取り付けてください。他の向きでは温水器が据付できないおそれがあります。

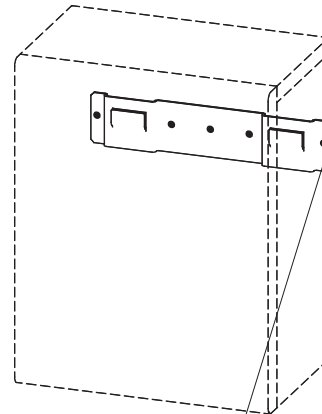
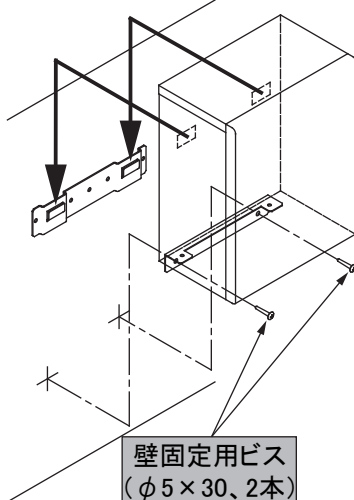
⑥ 壁固定金具下の取り付け

- ・ 温水器固定用ビス(付属品)を使用し、温水器の底面に壁固定金具下を取り付けます。



⑦ 温水器の壁取付

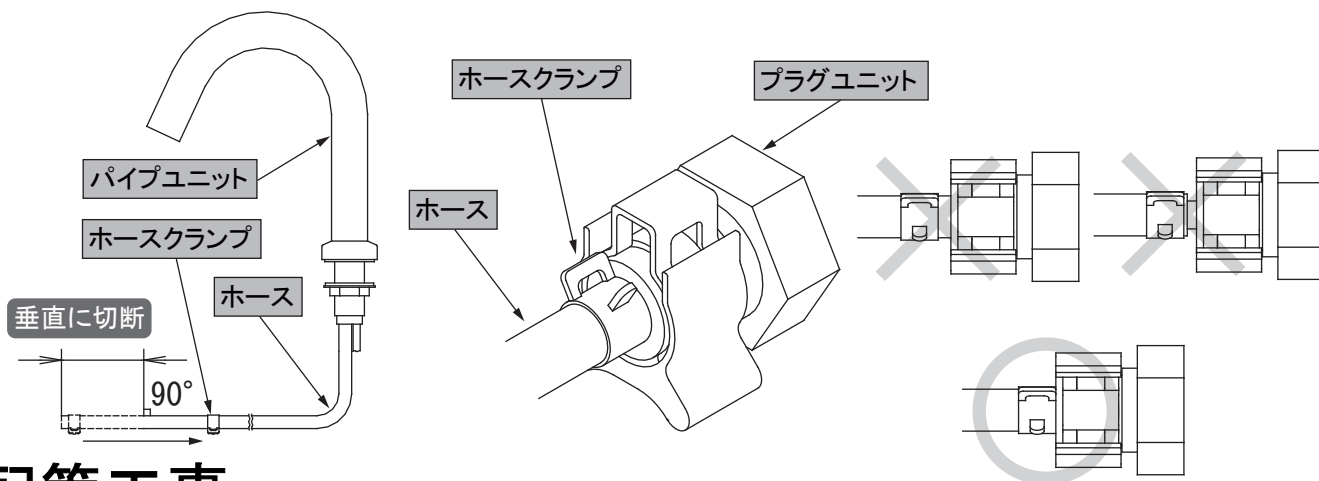
- ・ 壁固定金具上に温水器背面の穴をひっかけ、左右に本体をゆらし、壁固定金具上にしっかり温水器がひっかかっているか確認します。
- ・ 壁固定金具下を壁固定用ビス(付属品)を使用して、壁に固定します。



壁固定金具上の端を温水器の角に合わせると取付けやすくなります。

据付工事

- ⑧・パイプユニットのホースをプラグユニットの接続口に合うよう、必要に応じて適切な長さに切断します。
 (ホースが長いと他のものに引っかかったり、折れ曲がる可能性があり、短いと温水器まで届きません。)
 切断する場合は、ホースクランプをなくさないよう、移動させてから垂直に切断します。
 ・ホースクランプがホースに通してあることを確認し、ホースが折れ曲がらないようプラグユニットへ根元まで差し込みます。
 ・ホースクランプを移動させてプラグユニット面に隙間なく取り付け、ホースを固定します。

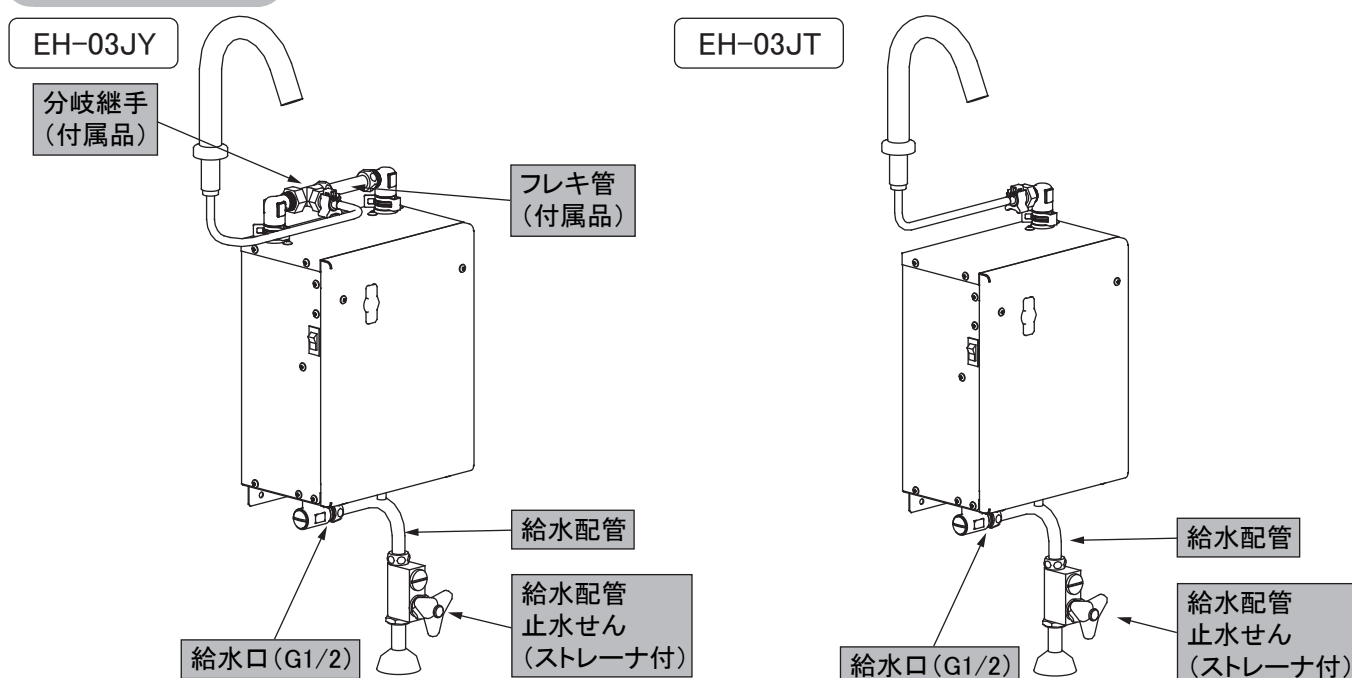


配管工事

配管工事をする前に

- 水は水道法の飲料水水質基準に適合した水道水を使用してください。水道水であっても塩分、石灰分、その他不純物が多く含まれている水質や酸性水質での使用は避けてください。井戸水、地下水、温泉水はスケールが付着しやすくなり、また温水器をご使用いただく期間の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。
 (水質に起因した不具合が発生した場合、無償保証できません。)
- 給水圧力を確認し、最低必要水圧50kPa(流動時)、最高水圧750kPa(静止時)でご使用ください。
 750kPa(静止時)以上の場合、給水1次側に減圧弁を設けてください。
- ストレーナ付きの給水配管止水せんを必ず使用してください。
- 建築躯体側配管の接着剤が乾燥していない状態で温水器を接続しないでください。
 (接着剤が乾いていない状態で湯水を通すと湯が臭ったり、水漏れ等の故障の原因となることがあります。
 必ず接着剤が乾いていることを確認してから配管してください。)

標準配管例



配管工事

給水配管止水せんー温水器間の接続

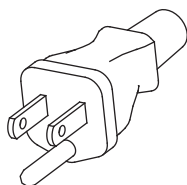
- 給水配管止水せんと温水器の接続はステンレスフレキ管(現地手配)を使用してください。
- ストレーナ付きの給水配管止水せんを必ず使用し、お客様が操作しやすい場所に取り付けてください。
また取り付けの際に、ストレーナが2次側(温水器側)になるように取り付けてください。
(逆に取り付けるとストレーナの掃除ができなくなります。)

⚠ 注意

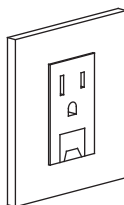
- ・給水配管を接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため給水配管止水せんを開け十分に通水(20L程度)してから接続してください。ゴミが機器内に入ると、故障や水漏れの原因となります。

電気工事

- コンセントの電気工事は、関連する法令、規則に従って必ず有資格者(電気工事士)が行い、コンセントからのアース工事(D種接地工事(接地抵抗100Ω以下))も行ってください。
- 温水器専用の、電源電圧AC100V、定格15A以上のコンセントを使用してください。
- 接地極付電源プラグを使用しているため、必ず接地極付コンセントを使用してください。



接地極付電源プラグ



接地極付コンセント例

- 必ず分電盤等に漏電しゃ断器、温水器専用の電源ブレーカーを設けてください。
- 工事を行うときは必ず温水器専用の電源ブレーカーを「OFF(切)」にしてください。

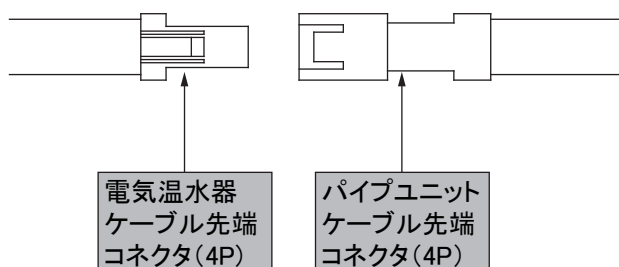
⚠ 注意

- ・温水器に給水する前には、絶対に通電しないでください。
- ・水道管、ガス管への接地および、他器具用アースとの共用はしないでください。

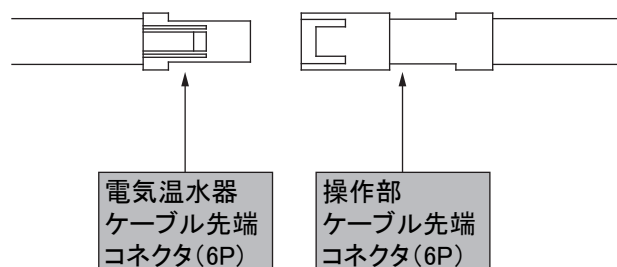
ケーブルの接続

- パイプユニットのケーブル先端のコネクタ(4P)と電気温水器のケーブル先端のコネクタ(4P)を接続します。
- EH-03JYの場合は、操作部のケーブル先端のコネクタ(6P)と電気温水器のケーブル先端のコネクタ(6P)も接続します。

パイプユニットコネクタ接続



操作部コネクタ接続

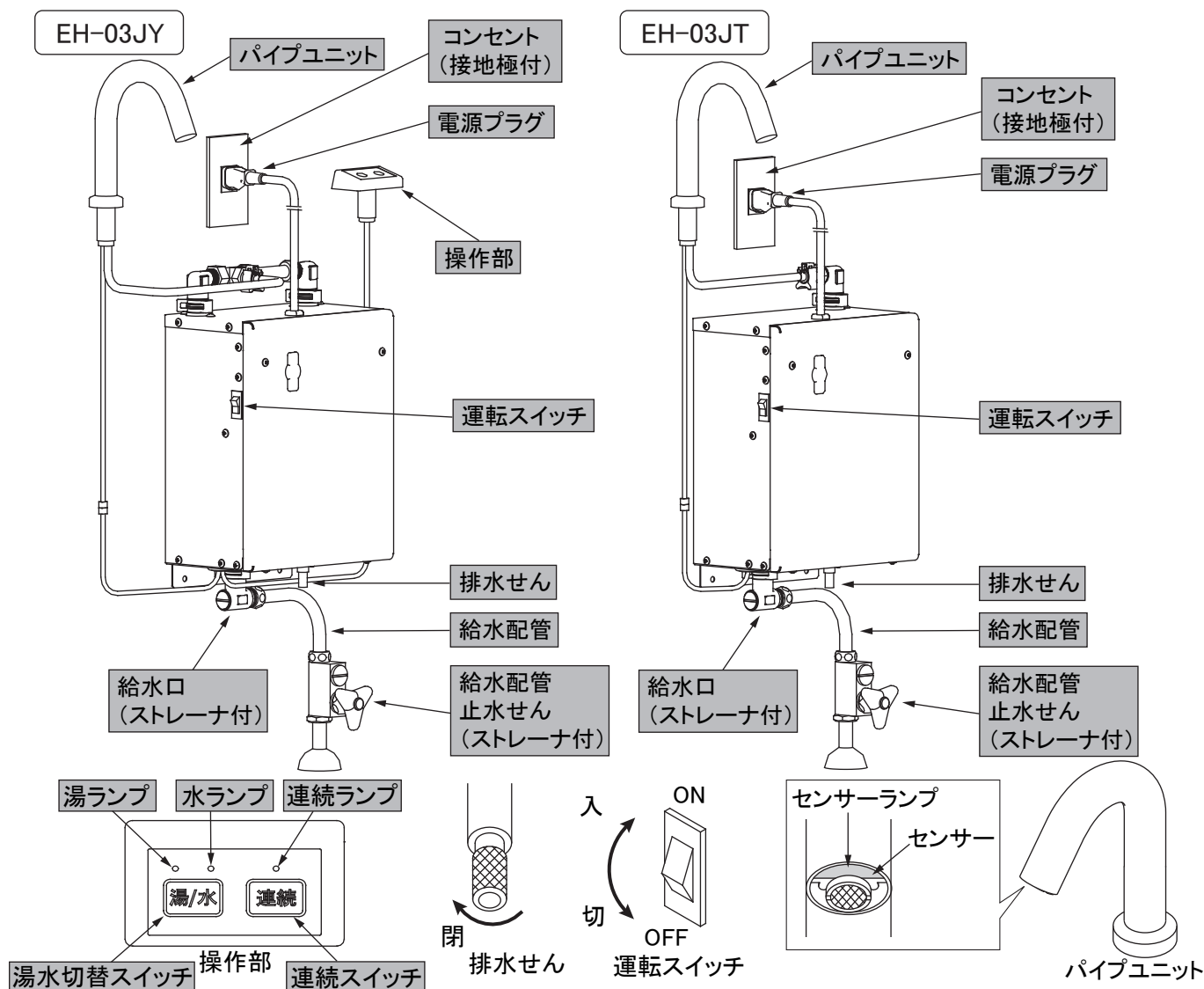


⚠ 注意

- ・「カチッ」と音が出るまで、しっかり差し込んでください。
- ・コネクタの接続時に、ケーブルを無理に引っ張らないでください。

試運転

工事完了後の確認



⚠ 注意

・温水器のタンク内が空の状態では、絶対に運転スイッチをONしないでください。温水器が破損します。

1. タンクへの給水

- ①排水せんが閉まっていることを確認してください。
- ②給水配管止水せんを開きます。
- ③運転スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ④電源プラグをコンセントへ差し込みます。電源が入ると直ちに感知距離を自動で設定します。センサーに手をかざしたり、洗面ボウル内に物を置いたりしないでください。(約10秒でこの動作は完了します。)
- ⑤センサー部に手をかざしたり、洗面ボウル内に物が置いていない状態で、パイプユニットのセンサーランプが点灯していないことを確認してください。もしも点滅していれば、パイプユニットの向きを少し変え、点滅しないところで本体の取り付けを行ってください。
- ⑥・(EH-03JYの場合) 湯ランプが点灯していることを確認し(水ランプが点灯している場合は、湯水切替スイッチを押し、湯ランプを点灯させる。)、連続スイッチを押してください。連続ランプは約1分で消灯しますので、1分毎に連続スイッチを押し、パイプユニットから安定して連続的に水が出ることを確認した後、連続スイッチを再度押し、連続ランプを消灯してください。
・(EH-03JTの場合) センサー部に手をかざし、センサーを感知させる。1分間センサーが感知し続けると、自動的に止水するため、パイプユニットから連続的に水が出るまで、繰り返し手をかざしてください。
- ⑦センサー部に手をかざし、水が連続的に出ることを確認してください。
- ⑧温水器や配管などからの水漏れがないか確認してください。

⚠ 注意

・手をかざしても通水しない場合は、ケーブルのコネクタがしっかり接続されているか確認してください。

2. 通電

①運転スイッチを「ON(入)」にします。運転スイッチが点灯することを確認してください。

(湯沸し中は運転スイッチが点灯します。)

※湯沸し中はパイプユニットから湯が出ます。これはタンク内部の膨張水を排出しているもので、故障ではありません。沸き上げが終わると、膨張水の排出は止まります。

②沸き上がると運転スイッチが消灯します。パイプユニットセンサー部に手をかざし、お湯が出ることを確認してください。(EH-03JYの場合、湯ランプが点灯している状態で確認してください。)

●沸き上がり時間の目安

タンク内温度(全量が給水温度の時)	5℃	15℃	25℃
沸き上がる時間の目安	約23分	約20分	約17分

試運転完了後のお願い

●温水器給水口のストレーナ、ストレーナ先端の定流量弁、給水配管止水せんおよび吐水口金具のストレーナを掃除してください。

●作業時は必ず給水配管止水せんを閉じて行い、作業終了後に再び開けてください。

温水器給水口ストレーナ、定流量弁のはずしかた

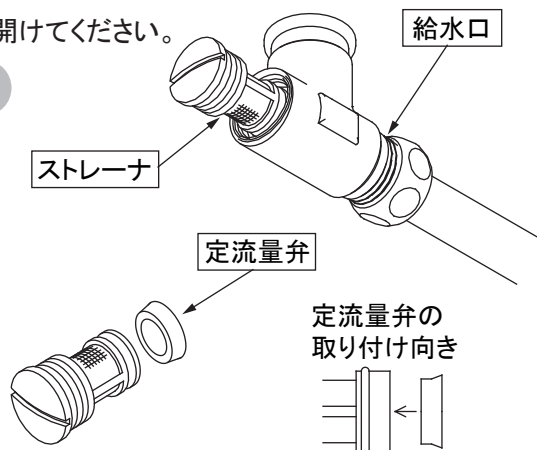
①給水配管止水せんを閉じ、センサー部に手をかざし、水が出てこなくなることを確認してください。

②給水口のストレーナをコイン等を利用し、反時計回りに回し、取りはずします。

※ストレーナをはずすと配管内の残水が出てきますので、洗面器などで受けてください。

③ストレーナの先端に付いている定流量弁を取りはずします。

※定流量弁を取り付ける場合、取り付け向きには注意してください。

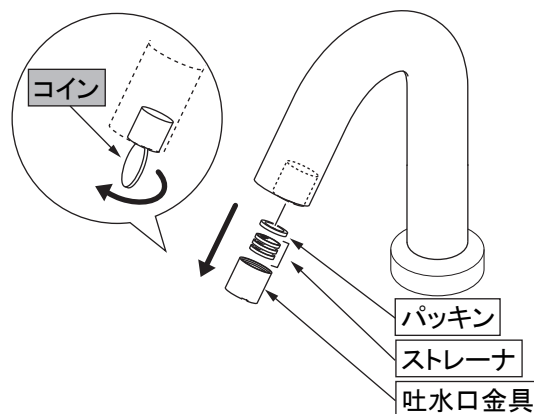


工事完了後の確認

吐水口金具のストレーナのはずしかた

①給水配管止水せんを閉じます。

②吐水口金具をコイン等を利用し、反時計回りに回し、ストレーナ(3枚)を取りはずします。



流量調節方法

水圧が低い等、給水配管止水せんを全開にしても流量が不足する場合のみ、下記作業を行ってください。

①給水配管止水せんを閉じ、センサー部に手をかざし、水が出てこなくなることを確認してください。

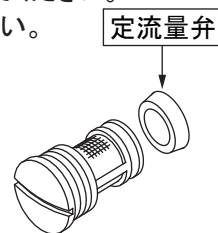
②給水口のストレーナをコイン等を利用し、反時計回りに回し、取りはずします。

※ストレーナをはずすと配管内の残水が出てきますので、洗面器などで受けてください。

③ストレーナの先端にはめ込まれている定流量弁を取りはずします。

④ストレーナをコイン等を利用し、時計回りに回し、確実に取り付けます。

⑤給水配管止水栓を開け、流量調節をしてください。



●工事完了チェックシート(裏表紙)のチェック欄、販売店様、工事店様記入欄を記入してください。

●工事完了当日にお湯をお使いになるときは、タンクへ確実に給水されていることを確認後、運転スイッチを「ON(入)」にしてください。

●試運転完了後に温水器をすぐ使用しない場合は、取扱説明書「メンテナンスー使用しないときはー長期不使用時」の内容に従い、温水器の水を排水してください。

故障かなと思ったら

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置
水が出ない	止水せんは十分に開いていますか	止水せんを開ける
	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る
	センサーの前に障害物はありませんか	障害物を取り除く
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを差し込む
	コネクタは確実に接続されていますか	コネクタを確実に接続する
	停電中または断水中ではありませんか	回復するまで待つ
	分電盤などの漏電しゃ断器、温水器用のブレーカーが「OFF(切)」になっていませんか	漏電しゃ断器、ブレーカーを「ON(入)」する
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する
	タンクが満水になっていますか	タンクを満水にする
吐水量が少ない	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する
	止水せんは十分に開いていますか	止水せんを開ける
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する
	給水ホースは折れ曲がっていませんか	折れ曲がらないように調整する
湯が出ない	水圧等が不足していませんか	定流量弁をはずし、止水せんで流量を調節する
	運転スイッチが「OFF(切)」になっていませんか	運転スイッチを「ON(入)」する
	湯水切替スイッチが水側になっていませんか (EH-03JYのみ)	湯側にする
	タンクが満水になっていますか	タンクを満水にする
吐水が飛び散る	吐水口金具のストレーナにゴミ等がつまっていますか	吐水口金具のストレーナを清掃する
水が止まらない	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る
	センサーの前に障害物はありませんか	障害物を取り除く
	センサーランプが点滅していませんか	電源プラグを抜いて、再接続する
	万一、上記の箇所を調べてみても水が止まらない場合は、止水せんを閉めてください	

工事完了チェックシート

工事が完了しましたらお客様に温水器を引き渡す前に、工事の確認と試運転 (P10 試運転)を行ってください。試運転は、必ずお客様に立ち会っていただき、運転操作はもとより操作上の注意などをよく説明し、理解を深めていただくようにしてください。

	確認内容	チェック
据付工事	保守点検、交換のできるスペースがありますか。	
	火気、引火物から離れていますか。	
	据え付け壁面の強度は満水時質量に十分耐えますか。	
	壁固定金具上と壁固定金具下は、付属のビス(各2本ずつ)で壁面にしっかりと固定されていますか。	
	温水器下部と壁固定金具下が付属のビス2本でしっかりと固定されていますか。	
	温水器が傾いたり、壁面から浮いたりしていませんか。	
	気温が氷点下になる場所に据え付けられていませんか。	
	パイプユニット、操作部(EH-03JYのみ)が緩んだり、がたついたりしていませんか。	
配管工事	温水器専用ストレーナ付きの給水配管止水せんはありますか。	
	給水配管接合部のシール材、パッキンは耐食性に問題ない材質ですか。	
	給水口のストレーナ、定流量弁の掃除は行いましたか。	
	吐水口金具のストレーナの掃除は行いましたか。	
	給水配管止水せんのストレーナの掃除は行いましたか。	
電気工事	電源はAC100V ですか。	
	分電盤等に漏電しゃ断器、温水器専用の電源ブレーカーは取り付けられていますか。	
	接地極付コンセントを使用していますか。	
	接地極付コンセント(接地極)からのアース工事は行っていますか。	
	コンセントの定格容量(定格電流)は適切ですか。	
	電源プラグがコンセントに根元までしっかりささっていますか。	
	パイプユニットコネクタ、操作部コネクタ(EH-03JYのみ)がしっかりささっていますか。	
その他	配管各部からの水漏れはないですか。	

販売店様、工事店様記入	年 月 日 に私が責任を持って試運転を行いました。
お客様氏名:	様 店名:
型式:	連絡先:
試運転確認者名:	